



徳島お片づけラボ・竹内真理さんの 親子のお片づけ講座 ～お片付けから見えること～



お片づけしても、すぐ元に戻ってしまう？
それはあなたに合ったお片づけではないのかもしれませんが。
毎日学校で使う筆箱を使ったお片づけワークを通して、
「あなたにピッタリなお片づけ」を見つけましょう。
新年をスッキリしたお部屋で迎えられますよ。

昨年度開催した
お小遣い・エシカル消費
の講座が大好評だった
坂本先生が、特別講師で
登場！お年玉の使い方
のお話もあるかも！



さかもと ゆか
特別講師：消費者教育の専門家 坂本有芳さんに
消費行動について学ぶ

お片づけ（筆箱の分類整理）の
ワークをする時、みんなはとても
大切な「何か」に気づくでしょう。
その気づきから、「消費行動」に
ついて、一緒に学びましょう。

整理収納アドバイザー/ライフオーガナイザー
竹内真理さん
ライフオーガナイズスタジオ エクリュプラス 主宰

いつも学校に持って行っている筆箱を
お持ちください。
分類整理のワークショップをします。



*大人の方も、財布やポーチで
ワークに参加できます（希望者）

12/15 土 14:00 - 16:00 *13:30 開場

対象：小学生親子 *おとな(中学生)のみの参加も可

参加費：おとな(中学生以上) 300円・こども 200円



鳴門うずしお会館
2階会議室

*うずしお会館が満車の際は
鳴門市役所及び鳴門市共済会
館裏の駐車場をご利用くださ
い（隣接の物産館・消防署の
駐車場は利用できません）

持ち物：ふだん使っている筆箱
(学校に毎日持っていく筆箱)

事前申込必要・定員50名

メールでお申し込みください

761024tetete@gmail.com

- ①お名前
- ②学校名
- ③学年 をお知らせください

メールの送信はこちらのQRコード
からのご利用が便利です →



「なるとにしあそびラボ てとてとて」は、鳴門市鳴門町・鳴門西小学校区の読み聞かせボランティア「お話チョボラ」を母体に、学校の枠にとらわれず、もっと広い視点で「子育て」を考えることができることを願い2013年に発足しました。

私たちを含めて子育て中の家庭では子どもが将来自立、自律して生活していけるように願い、子どもと向き合っています。しかしその思いとは裏腹に、どのように子どもに働きかけたいか、どのように関わればいいのか悩み、結果過保護・過干渉になってしまうことも多いかもしれません。子どもと大人(親)と地域を繋ぐ「てとてとて」は、日常生活の中で親子が共に時間を過ごす中で『親も子ども共に学び共に育つ』学びの場「子育て 親育ち プロジェクト」を始動。毎回テーマに応じた第一人者を招き、子どもにも大人にもより良い学びの場を提供しています。



今回の「子育て・親育ちプロジェクト2018」講師紹介

徳島お片づけラボ・竹内真理さんの **親子のお片づけ講座** ～お片づけから見えること～

「きれいに片付いた、素敵なお部屋に住みたい」と思っているのに、なんだか片づかない・・・そんなあなたにぴったりのお片づけを学びましょう。

お小遣いセミナー
エシカル消費のお話が
大好評だった
消費経済学の専門家
坂本先生も特別講師
で登場！

講師：竹内真理 (たけうち・まり) さん

ライフオーガナイズスタジオ エクリュプラス 主宰。
整理収納アドバイザー/インテリアコーディネーター/カラーコーディネーター/ライフオーガナイザー等の資格を持ち、暮らしやすい家作りのサポートや「子供お片づけ教室」などを展開している。

また、様々なスキルを持つライフオーガナイザーたちとチーム「徳島お片づけラボ」を結成し、お互いのスキルを生かして県内外で活動している。



講師：坂本有芳 (さかもと・ゆか) さん

鳴門教育大学大学院学校教育研究科准教授
(生活・健康系コース(家庭))
専門分野：消費者教育、生活経営学

民間企業勤務を経て、子育てと並行して大学院に進学し、博士学位取得(社会科学)。

小学校の教員や中高の家庭科教員を目指している学生に「家庭経済学」や「消費教育」の授業を行なっている。



前回の「子育て・親育ちプロジェクト2018」活動報告

Vol.1 くにたち男女平等参画ステーションの木山直子さんと考える
「違いをパワーに！多様な性ってなんだろう？」
(2018.8.19 開催)



「多様な性」を語る時、「LGBT」が取り上げられることが多いですが、近年、国際的には「誰にでも性的指向・性自認がある」という考え方を示す「SOGI(ソジ・ソジ)」を使う動きが出ています。自分の性をどう認識しているか？好きになる対象の性はどうか？様々なワークを通して自分と丁寧に向き合うことで「多様な性」とは、何か特別な存在があるのではなく、わたしたち誰もが「多様な性」を構成するひとりであることが理解できました。

講師：木山直子さん

渋谷での「パートナーシップ証明書」発行に関わるなど、木山さんの経歴ならではの現場の生の声を聞いたり、グループでの世代を超えた意見交換など、様々なワークを通して、たくさんのことを学びました。



周りのみんなにも知ってほしいから、学んだことを次の人権作文のテーマにしたいと思います！

自分が変わった気がする！友だちが差別的なことを言ったら、それは違う！と言えると思う！



自分に偏見はないと思っていたのですが、自分でも驚くような思い込み(刷り込み)があることを実感しました。気づけてよかった。



世代を超えて大人も子どもと一緒に話せたのがよかった。意識しすぎず、今後家庭でも話してみたいと思った。

SOGI (ソジ・ソジ)

SO (Sexual Orientation) 性的指向
どんな性別の人を好きになるか
GI (Gender Identity) 性自認
自分をどんな性だと認識しているか
の頭文字を合わせた、多様な性を表す概念

LGBT

レズビアン(L)、ゲイ(G)、バイセクシャル(B)トランスジェンダー(T)の頭文字を取った、性的マイノリティの総称

アウトティング

性的指向、性自認の暴露。カミングアウトをした本人の了承なくセクシャリティについて第三者に公言してしまうこと

「国立市女性と男性及び多様な性の平等参画を推進する条例」が注目されるのは？

- 性的指向と性自認の定義を加えている
性別について、従来の女性と男性の2分でなく、好きになる相手の性別(性的指向)や自分の性に対する認識(性自認)について定義しています。
- 公表の自由は個人の権利・アウトティングを禁止
性的指向、性自認を公表するかしないか(カミングアウト)の選択は個人の権利とし、他の人が本人の意思に反して勝手に公表すること(アウトティング)を禁止しています。

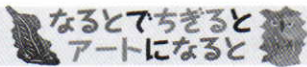
その他、障がいや環境なども加えた複合差別への支援や、生涯を通じて「女性と男性及び多様な性の平等」について学ぶ機会が得られるよう、教育関係者の責務も定めています。

これまでの「子育て・親育ちプロジェクト」ー 2017年度はこんなことを学びました

Vol.1 1級家事セラピスト・桑井優子さんの **社会で活躍する人材の育み** ～親だからできること～



Vol.2 絵本作家/イラストレーター・木村太亮さんの **なるとてちぎるとアートになると**



Vol.3 消費者教育の専門家・坂本有芳さんの **親子で考えよう お金の上手な使い方**



Vol.4 キャリアカウンセラー・柴田朋子さんの **親子で挑戦！貿易ゲーム**



Vol.5 絵本作家・羽尻利門さんと **鳴門のむかしばなしの絵を描こう**

